

磯松中学校だより No.2

令和元年5月22日
東広島市立磯松中学校

学校教育目標 「確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成」

ホームページアドレス http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu_chu

メールアドレス isomatsu-chu@city.higashihiroshima,hiroshima.jp

平成から令和に元号が変わりました。本年度もスタートして2ヶ月が過ぎようとしています。1年生は、江田島宿泊学習に行き、中学生としての心構えや行動の仕方を学んで中学生らしい行動がとれるようになってきました。2・3年生は先輩としての自覚も育ち学習や部活動に励んでいます。

5月は、授業参観・部活動懇談会、県選手権予選大会、陸上大会等、多くの行事が行なわれました。「文武両道」学習と部活動を両立させ、生徒は元気に学校生活を送っています。今週から体育大会の練習がはじまりました。日中は、気温が高くなり、熱中症に気をつけて練習に取り組んでいます。体育大会練習期間中は、規則正しい生活が送れますよう、ご家庭でもご協力をお願いします。



家庭観望へのご協力
ありがとうございました。

授業参観・部活動参観・懇談会・PTA 資源回収

5月11日(土)、授業参観・部活動懇談会、PTA 資源回収を行ないました。261名の保護者の皆様の参観がありました。また、当日は、部活動参観も兼ねていたことからグラウンドに駐車できないこともあり、徒歩での来校をお願いしたにもかかわらず、PTA 資源回収にもご協力をいただき誠にありがとうございました。



1-2 理科参観授業



つばさ2 数学科参観授業



2-2 音楽科授業参観



3-1 数学科授業参観



陸上部 (長距離)



陸上部 (総合)



美術部



剣道部



野球部



男子ソフトテニス部懇談会



陸上 (長距離) 部懇談会



PTA 資源回収

【来校された保護者の声】

- ・土曜日なので、夫婦で参観しました。子供の授業での様子が参観できてよかった。頑張っていたので子供が帰宅したら、褒めてあげたいと思いました。
- ・部活動懇談会で「部活動方針」などについて顧問の先生から説明ありました。先生達の仕事(働き方改革、改善)について保護者も理解と協力することが大切だと感じました。

平成31年度 磯松中学校 学校評価自己評価表

学校教育目標の「確かな学力を身につけ、心豊かで活力に満ちた生徒の育成」を目指し、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進します。

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標
学力の向上を図る学校	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。	(1)生徒が「分かる・できた」と実感できる授業づくりを推進する。	○「磯松授業スタイル」の実践、ねらいと学習課題が明確な授業。 ○学習規律(ベル着・私語)の徹底を図る。 ○「聴く」「書く」「話す」活動を取り入れた授業を展開する。 ○小中連携による教師力、生徒の学力の向上を図る。	①学習に係るアンケート項目の肯定的評価を90%以上にする。 ②磯松授業スタイルの実践に向け、教職員の校内授業研究又は校外での研修参加率を100%にする。 ③「自分の考えをまとめ発表できる」生徒の割合を80%以上にする。 ④「他者(生徒間、教職員等)の話を聴く」「自分の考えを書く」「自分の考えを振り返ったり、まとめたり発表する」ことができる生徒の割合を1年生70%、2年生75%、3年生80%以上にする。
		(2)家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ意欲・態度を育てる。	○適度の宿題及び自学自習ノートの課題の提出・点検を実施する。 ○読書活動(朝読書も含む)を推進する。	⑤「期限内に提出物を出す」生徒の割合を88%以上にする。 ⑥月1冊以上の読書をする。
規律と活気のある学校	豊かな心と健やかな体を育て、活力ある生徒を育み、不登校の未然防止に努める。	(1)豊かな人間性と社会性を育てる。	○JASMIN(東広島スタンダード)を徹底させる。 ○部活動、体育大会、文化祭等の取組を充実させる。	⑦生徒の「JASMIN」についての取組を肯定的に評価する教職員の割合を80%以上にする。 ⑧JASMIN(8項目)の達成率の平均を87%以上にする。(時間90%、挨拶90%、返事、言葉遣い90%、掃除、整理整頓80%、身だしなみ80%、履物80%、提出物88%) ⑨主体的・創造的な活動(部活動、体育大会、文化祭など)の取組による達成感を80%以上にする。
		(2)健康の増進とたくましい体を育てる。	○健康教育・食教育の推進を図る。 ○新体力テストの結果を踏まえて、弱点克服のための補強運動を実施する。	⑩「給食を残さない」生徒の割合を90%以上にする。 ⑪男女共に「長座体前屈」について県平均値を上回るようにする。
		(3)不登校の未然防止、解決に向けた取組を充実させる。	○生徒指導部会(不登校対策委員会)を定例開催し、取組の方向性を出す。 ○スクールカウンセラーや心のサポーターを活用する。	⑫不登校生徒の割合を全国平均以下にする。 ⑬生徒指導実践指定校の取組による不登校生徒への家庭訪問実施率を100%実施する。
組織的運営をする学校	機動的な学校運営体制を確立し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。	(1)生徒指導体制を確立する。	○「報告・連絡・相談」を徹底させ、組織的・積極的な生徒指導を行う。 ○教育相談体制を確立し、生徒理解を深める。	⑭「悩みを相談できる先生がいる」生徒の割合を75%以上にする。 ⑮SCによるの新入生面談を100%実施する。 ⑯「学級生活不満足群」の生徒の割合を10%以下にする。 ⑰Q-U等を活用した教育相談の実施率を100%にする。
		(2)小中連携教育を推進し、子供の資質・能力を高める。	○育成する資質・能力の系統表を作成し、三校で子供の資質・能力を高める。 ○学校や地域に貢献する。 ○授業参観や学校だより、ホームページを充実させる。 ○資質・能力を育成するカリキュラムマネジメントを推進する。	⑱校内緑化活動、美化活動、地域でのボランティア活動に積極的に取り組んだ生徒の割合を80%以上にする。 ⑲「磯松中学校で学ばせて良かったと思う」保護者の割合を90%以上にする。 ⑳行きたい学校(生徒)、行かせたい学校(保護者)、やりがいい学校(教職員)の割合85%以上にする。
		(3)社会に開かれた魅力ある学校づくり(教育課程)を推進する。		
働き方改革の推進	教職員の時間外勤務時間を縮減させるとともに、子供と向き合う時間が確保されていると実感できる教職員を増やす。	(1)部活動時間を縮減する。	○学校の部活動方針に基づいた部活動の実施。	㉑時間外勤務時間が毎月75時間を超えない教職員の割合100%。
		(2)業務に計画的に取り組み早期退校に努める。	○早期・定時退校日を設定する中で、計画的に業務に取り組む。	㉒早期・定時退校日が守れた教職員の割合85%以上。 ㉓「子供と向き合う時間が確保されている」と実感できる教職員85%以上。

6月のおもな行事

1日(土)	第37回体育大会(雨天授業あり)	10日(月)	習熟度テスト(3年生), NRT(1・2年生)
3日(月)	振替休日	11日(火)	習熟度テスト(3年生)
4日(火)	第37回体育大会予備日	13日(木)	内科検診(1年生)
	いじめ体罰アンケート配布(保護者)	15日(土)	呉・賀茂大会
5日(水)	上級学校説明会	16日(日)	呉・賀茂大会
	いじめ体罰アンケート実施(生徒)	20日(木)	前期中間試験
6日(木)	内科検診(2年生)	21日(金)	前期中間試験
7日(金)	日本語検定	24日(月)	人権教室(1年生), 第1回弁当DAY
9日(日)	環境ボランティア&市きれいなまちづくりキャンペーン	25日(火)	人権教室(1年生)
		27日(木)	集金日, 鼻科検診内科検診(2年生)

SC(スクールカウンセラー)来校日: 4日・18日・25日

心のサポーター来校日 : 7日・10日・14日・17日・21日・24日・28日

※SC・心のサポーターとの面談を希望される場合、教頭又は生徒指導主事、養護教諭にご連絡ください。